



子どもたちが描く夢あふれる「ふれあいバス」!

ゆめおいバスコンテスト結果発表

6月10日に開かれた「よって見んしゃい! 軽トラ市多久&ハピたくらぶ元気玉まつり」で「ゆめおいバスコンテスト」が行われました。これは市内を走っている「ふれあいバス」に華やかなイメージを持ってもらおうと、市内の保育園児や小学生に、それぞれの夢を乗せて走る「ふれあいバス」をめぐり絵で表現してもらいました。202人の応募があり、入賞者は次のとおりです。

▲「ゆめおいバスコンテスト」は、保育園児から小学生まで、たくさんの応募をいただきました

- | | | | |
|---------|---------------------------------|--------------|---|
| 👑 最優秀賞 | 原 真 ^{まゆき} 有輝さん (東部小) | 👑 優秀賞 | 市丸 琴 ^{ことば} 葉 ^{はな} さん (緑が丘小) |
| 👑 敢闘賞 | 鳥井 結 ^{ゆな} 奈さん (双葉保育園) | 👑 軽トラ市賞 | 久保田晴 ^{はな} 那さん (多久保育園) |
| 👑 ハピたく賞 | 加茂 彩 ^{あやか} 佳さん (双葉保育園) | 👑 ふれあいバスのりま賞 | 堤 彩 ^{さいか} 花さん (中部小) |

なお、コンテスト入賞者の作品は、8月から3か月間「ふれあいバス」に作品を展示します。

交通事故未然防止と地域の安全・安心を込めて!

JAカーブミラー寄贈式

6月20日、交通事故防止を目的としてJAグループ佐賀が市内各所に設置したカーブミラー寄贈式が市役所で行われました。

カーブミラーの設置は、JAグループ佐賀が『交通事故をなくしたい運動』の一環として、平成22年度より県内全自治体で進めているものです。今年度多久では、市内の交通危険箇所32基を設置いただきました。

寄贈式には、JAさが佐城地区担当円城寺吉一常務をはじめ、JA共済さが高柳勉本部長、横尾俊彦市長らが出席。

円城寺常務理事が「カーブミラーの設置で交通事故の未然防止に役立ていただき、安心して暮らせる地域社会を願っています」とあいさつし、横尾市長が「特に交通事故が懸念される重点箇所32基に配置させていただきました。ともに地域の安心・安全に努めていきましょう」とお礼の言葉を述べました。



▲円城寺常務より、目録の贈呈を受ける横尾市長

空手世界大会優勝 市長へ報告

7/5

4月にアメリカであった円心空手世界大会で優勝した船津脩平さん(28歳)が、恩師の田淵厚さんとともに横尾市長に優勝報告をしました。

東多久町出身の船津さんは、小学3年から中学時代に納所小の空手教室で練習に励みました。大学時代に福岡の円心流空手道場に入門し、練習を重ね今回の快学を達成。決勝戦では、試合中鼻を折られながらも、ポーランドのチャンピオンを破りました。今後は、「空手を通して学んだことを伝え、運動で人を、まちを元気にしたい」と地域への貢献を約束しました。



福祉作業所『ありがとう』から義援金が届けられました

6/19

福祉作業所『ありがとう』(北多久町)の利用者のみなさんと、多久高生が市役所を訪れ、横尾市長に義援金11,996円を届けました。これは6月10日の元気玉まつりで、利用者のみなさんと多久高校2年生13人が授業のボランティア活動の一環として販売した売上金です。同代表井田さんは、「この体験がみんなの働く意欲につながりました」とあいさつし、義援金を渡しました。横尾市長は、「助け合いの輪を広げていってほしいです」とお礼の言葉を贈りました。義援金は、日本赤十字社を通して被災地へ届けます。

